

福祉の仕事って何をすることなの？

起きる・食事をする・外出をする・トイレに行く・風呂に入る・寝る・仕事をするといった普通の日常生活のことがさまざまな原因で困難になることがあります。このような困難を乗り越えるのを、身体的あるいは精神的に支えることが福祉の仕事です。



身体的・精神的に支える仕事

高齢者関係	身体障害者(児)・知的障害者(児)関係	子ども関係
<ul style="list-style-type: none"> ●介護福祉士 ●ケアマネジャー ●社会福祉士 ●介護職員初任者研修など 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉士 ●言語聴覚士 ●理学療法士 ●言語聴覚士 ●作業療法士 ●義肢装具士など 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士 ●児童指導員 ●社会福祉士

知っておきたい！介護・福祉の資格

<p>国家資格</p> <p>社会福祉士</p> <p>社会福祉士の仕事は、高齢者や障害者など、福祉サービスが必要とする人の、福祉に関する相談に乗りながら、社会的に自立できるように助言や援助を行います。</p>	<p>国家資格</p> <p>介護福祉士</p> <p>介護福祉士は、高齢者や障害者など、介護を必要とする人の入浴や食事、排泄など、またその人の心身の状況に応じて介護を行うなど、直接支援をする仕事です。</p>	<p>公的資格</p> <p>ケアマネジャー</p> <p>介護サービスを必要とする人の相談に応じ、適切なサービスが受けられるよう市区町村や居宅サービス事業者、介護保険施設などの連絡・調整を行い、適切なケアプラン(介護サービス計画書)を立てる仕事です。</p>	<p>公的資格</p> <p>介護職員初任者研修修了</p> <p>平成25年4月よりホームヘルパー2級が廃止され、介護職員初任者研修に移行されました。介護の業務に携わる上で必要な最低限の知識と技術、その考え方の課程を学ぶことを目的としています。</p>
---	---	--	---

福祉施設のご紹介



01 大同老人保健施設

入院や治療を必要としない比較的症状が安定している高齢者の方に、介護やリハビリテーションのお手伝いをしています。

また在宅で介護が必要な方のリハビリテーション・入浴・食事を支援する「デイケア」も行っております。

所在地
〒457-8511 名古屋市南区白水町9
TEL.052-611-6212

法人名
社会医療法人 宏潤会

関連施設
・大同病院
・だいどうクリニック
・大同みどりクリニック
・中央クリニック

02 特別養護老人ホーム ゆうあいの里大同

隣接の大同病院と24時間緊密な連携で利用者の皆様に安心、安全な生活を提供します。

要介護の高齢者の方を対象に入浴や排泄、食事などの日常生活全般をサポートしています。身体機能のチェックも行い、利用者の健康管理に努めています。

所在地
〒457-8511 名古屋市南区白水町20
TEL.052-612-3030

法人名
社会福祉法人 大同福祉会

事業内容
特別養護老人ホーム(80名)
ショートステイ(20名)

03 メドックガーデンビレッジ緒川

今日も1日ありがとう みんなで過ごす だんらん時間

たくさん話して、たくさん笑って、心温まる生活空間作りを目指しています。

所在地
〒470-2102 知多郡東浦町大字緒川字栄39番1
TEL.0562-82-3003

法人名
社会福祉法人 成仁会

その他の施設
特別養護老人ホーム メドック東浦
〒470-2102 知多郡東浦町大字緒川字猪伏釜110番地
TEL.0562-82-2226

事業内容
特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス・グループホーム・居宅介護支援事業所

SSカフェで交流しました

7月12日(水)名古屋市立西陵高等学校 介護福祉系列介護福祉士コース3年生9名の生徒たちによる、認知症カフェ(西陵スマイルカフェ・通称「SSカフェ」)を校内にて開催しました。

認知症カフェとは、認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けていくために、医療機関、介護サービスや地域の支援機関、地域の方々との関係をつくり、連携しながら、認知症の人やその家族を支援することを目的としています。カフェでは地域にお住まいの約40名の方を迎え、最初に南京玉すだれ、その後リハビリ体操、物忘れと認知症の違いについて認知症セルフチェックやクイズなどを行い、参加された方々に楽しんでいただきました。

今回も西陵南部いきいき支援センターの方々をはじめ、たくさんの方々の協力を得ながら無事に終えることができました。今後も地域のみなさんが笑顔で過ごすことができるよう、名古屋市内唯一の福祉系高校として積極的に活動を続けていきたいと思っております。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

西陵スマイルカフェ

7月12日(水)名古屋市立西陵高等学校 介護福祉系列介護福祉士コース3年生9名の生徒たちによる、認知症カフェ(西陵スマイルカフェ・通称「SSカフェ」)を校内にて開催しました。

認知症カフェとは、認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けていくために、医療機関、介護サービスや地域の支援機関、地域の方々との関係をつくり、連携しながら、認知症の人やその家族を支援することを目的としています。カフェでは地域にお住まいの約40名の方を迎え、最初に南京玉すだれ、その後リハビリ体操、物忘れと認知症の違いについて認知症セルフチェックやクイズなどを行い、参加された方々に楽しんでいただきました。

今回も西陵南部いきいき支援センターの方々をはじめ、たくさんの方々の協力を得ながら無事に終えることができました。今後も地域のみなさんが笑顔で過ごすことができるよう、名古屋市内唯一の福祉系高校として積極的に活動を続けていきたいと思っております。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

認知症カフェとは？

(西陵スマイルカフェ)

名古屋市立西陵高等学校 福祉科主任 米谷浩教諭

特定非営利活動法人(NPO法人) 未来人財開発プロジェクトとは？

高校生の皆さんが福祉の仕事についてもっとよく知ってもらえるように情報提供をしたり、イベントを行うNPO法人です。

愛知県下全ての高等学校、全222校に配布

なるには新聞

世の中にはさまざまな職業があります。「なるには新聞」を参考にいろいろな職業について研究をして自分の進みたい職業を見つけてください。あなたの能力を発揮できる職場が必ず見つかるはずです。

NPO法人未来人財開発プロジェクトは皆さんが、ミスマッチのない職業選択をして「なりたい職業」に就き、それぞれの個性を発揮して充実した生活を送ることができるように「なるには新聞」を発行し、情報を提供します。

詳しくはこちら▶

福祉のお仕事新聞

南区・大府市・豊明市・東浦町版

2017年9月

発行：NPO法人未来人財開発プロジェクト TEL:052-325-2220

協力：名古屋市教育委員会 愛知県教育委員会認証 「あいち夢はぐくみサポーター」登録

制作：株式会社 大井企画



高校生の皆さんが福祉の仕事についてもっとよく知ってもらえるように情報提供をしたり、イベントを行うNPO法人です。



01 介護老人保健施設 大同老人保健施設



些細な変化を一番近くで感じることが出来る素敵な仕事

今回の施設訪問で大同老人保健施設を見学させていただきました。見学前は福祉の仕事はすごく大変でネガティブな印象を持ってしまっていたけれど、見学後は利用者さんのありがたう言葉や些細な変化を一番近くで感じることができるとも素敵なやりがいのある仕事という印象が変わりました。

実際に施設を見学して利用者さんが自分らしい生活を送れるような介護の提供がされていることを知りました。今回の経験を今後の授業や実習に活かしていきたいです。



夢に向かってしっかりと学んでいこうと思いました。

私は今回、老人保健施設に訪問させていただき、より福祉に携わりたいと思うようになりました。

特に印象に残っているのは、介護職員さんの利用者さんに対する態度や言葉遣いです。私はレクリエーションに参加させていただけ、後出しじゃんけんを行いました。私よりも後に負けるというルールで、中には私に勝っている利用者さんもいました。その時の職員さんの対応は、「○○さん負けるんだよ！あの子に負けるの！」という感じでした。違ふよ！とは否定せず、「グーを出すんだよ」と答えを教

えるわけでもなく、利用者さんの考えを尊重し、自立を促す対応でした。このようにほんのささいな言葉遣いや態度ひとつでも立派な援助だ、ということを学ばせていただきました。私も職員さんのような思いやりの心をもち、夢に向かってしっかりと福祉を学んでいこうと思いました。

私はちゃんとした施設訪問は今回が初めてで、初めて知ること、感じるものがたくさんありました。私がこの施設見学で一番印象に残ったのは、「掲示板です。私の中では施設はもっと暗いイメージを持っていましたが、カラフルなたくさん掲示物やご利用者が好きなもの、興味のあるようなものがたくさん掲示されていることに驚きました。その中にはご利用者が作られたものもあり、すごく綺麗でした。中でも衝撃的だったのは天井にも掲示物が貼られていたことです。職員の方に聞いたところ天井に貼ったのは貼るところが無かったからだそうです。貼るところが無くなるくらいたくさん物を作れるのは職員の方々がそれだけたくさんのお事をご利用者様にやってみようとしていたのだらうに工夫されているのを感じました。今回の見学で沢山の事を学びました。これを今後の生活に生かしていこうと思います。



（堀之内さん）

02 特別養護老人ホーム ゆうあいの里大同



介護職のみなさんの明るい姿が印象的でした。

私は初めて特別養護老人ホームに行きました。行く前は堅苦しいイメージでしたが、いざお邪魔させていただくと、みなさんとても明るい雰囲気です。そうして働いていらしたかったです。働く上で大切なことは何ですかと質問したところ、まずは自分自身が精一杯楽しむこと、と答えてくださったことが印象的でした。今回はもうすぐで夜ご飯の時間だったということもあり、利用者の方とお話させていただいた時間はありませんでしたが、利用者のみなさんの方から笑顔で挨拶をしてくださって介護職のみなさんの雰囲気を利用者のみなさんに伝わっている証拠かなと思えました。入浴室を見学させていただいた際には寝ながらお風呂に入る時の説明も丁寧にしていただきました。西陵にも入浴器具はありますが寝ながら入浴するための器具はないので、大変勉強になりました。介護職のみなさんの明るい姿が印象的だったので私もそのような介護職になりたいと思えました。

（井上さん）

楽しい雰囲気施設だと思いました。

私が今回の施設見学で一番印象に残っていることは、施設の雰囲気です。私は、四人の職員さんにインタビューをしました。介護の現場で働いてよかったことを伺ったところ、毎日が楽しいこと、小さな喜びがたくさんあることだと答えてくださいました。この施設は、誕生日会、わなげ大会、夏祭りなどのイベントが多かったり、職員さんが利用者さんとかかわるとき、「仕事は楽しん」をモットーに、自分が楽しむことを大事にしていたり、「笑顔が溢れ出てきちゃ」とおっしゃる職員さんもうらやましてと楽しい雰囲気施設だと思えました。

次に印象に残っていることが、チームワークです。施設のごにも、専用の電話で連絡が取れたり、病院が近くにあることで地域との連携も取れることを聞き、とても便利だと思えました。今回、見たり聞いたりして増えた知識を今後の授業や実習に活かしていきたいです。

（後藤さん）



私も将来、楽しく明るい素敵な施設で働きたいと思いました。

私が介護施設見学に行った理由は、将来施設で働きたいからです。色々なお話を聞いた中でも一番印象に残っていることは、利用者さんと関わる時に気を付けていることです。まず第一に仕事をすると時に自分自身が楽しむことおっしゃっていました。次は自分の機嫌を相手に伝えない事です。自分が楽しんでいければ自然を周りも明るくなり場が盛りあがって仕事場が楽しい場所へと変化します。そして、自分の機嫌を周りに伝えてしまわず楽しかったはずの場所が暗くなったりしてしまいます。そういふような事も見逃さず気を遣える施設はとても素敵だなとこへ来たいと思わせてくれる施設でした。

そして、何より職員さん同士の仲が良く、すごく楽しそうに仕事をしている光景を見て私も将来、楽しく明るい素敵な施設で働きたいと思えました。

（早河さん）

03 メドックガーデン ビレッジ緒川



細心の注意を払って介護することの難しさを体感しました。

今回は初めてのグループホームを見学してきました。初めてのことで不安で仕方なかったけれど、いざ見学してみると、全てが新鮮でとても楽しかったです。施設見学をしている中で、お話しした利用者の方々が笑顔で話してくれたおかげで、緊張も次第に和らいでいきます。車椅子の体験をしているときに、「押すときは普段歩いている速さの半分ぐらいにね」と言われました。それを疑問に思いつながり実際に普段の速さで歩いてみると、押しているお互いが危ないと感じるほどのスピードになってしまうからだと分かりました。

このように、様々なことに気をつけながら日々介護をしている方は本当に凄いなと改めて感じました。凄いいい経験をさせてもらったので、将来に役立てるように頑張りたいと思いました。

（上村さん）

笑顔でイキイキ、楽しい空気が流れている施設でした。



今回の施設見学で私はたくさん驚きました。まず一つ目は施設がきれいで大きかったことです。初めてみた時ホテルみたいな感じでした。中に入ってみると、風通しのいいお風呂がいくつかありました。畳風風呂や炭酸風呂など3種類のお風呂があったり大きい酸素カプセル、エスナするところがあり外観だけではなく中もホテルみたいだなと思いました。グループホームのお部屋の表札にも驚きました。本当の家の表札でデザインもいくつかあります。この施設は設備はいいですし介護士の方々は笑顔でイキイキとしていて施設には楽しい空気が流れていました。それは介護士さん達が利用者さんのことを考えて行動しているからだと思えました。私は今回の施設見学でもいろいろ経験が出来たと思います。

（清水さん）

「福祉」を理解する良いきっかけになりました。

この施設は、広い土地を使って二分し、利用者の方々の立場に立った気持ちで多くの工夫がされています。その中でも驚いたのは、「癒しの空間」として、保育園3種類の風呂場、野菜を育てる場所等、ストレスがたまらないように工夫されているところでした。利用者の方が使用している空間には「ユニットケア」と呼ばれる家庭の雰囲気を



取材に行った生徒さん 名古屋立西陵高校 水野さん 棚瀬さん 堀之内さん



取材に行った生徒さん 名古屋立西陵高校 井上さん 後藤さん 草河さん



取材に行った生徒さん 私立至学館高校 村上さん・清水さん 村上さん・長縄さん



取材に行った生徒さん 愛知県立海翔高校卒業 介護福祉士 金子ひかりさん



取材に行った生徒さん 名古屋工業高校 相模員 下村賢作さん



取材に行った生徒さん 名古屋工業高校 相模員 下村賢作さん

車いすって意外とスピードがでるんだなあ！

怖かったです。このように、メドック東浦に行かなければ学べなかった知識や経験が他にも沢山ありました。私は将来、歯科衛生士としてこの施設で働きたいと考えています。今回学べた事を忘れずに今後とも活かしていけたらなと思います。

（長縄さん）